

「都市高速鉄道なにわ筋線西区関連工事（建物撤去工事）」の工事説明会における主な質問と回答

説明会でいただきました質問と回答の要旨についてお知らせします。

No	質問事項	回答
工事内容		
1	工事完成まで何年かかるのか	今回の建物撤去工事は概ね今年度内の予定ですが、道頓堀川右岸側（南側）工事や、その後は当地におきまして立坑工事が始まり、シールドマシンによるトンネル工事を行う予定です。 なにわ筋線の完成は2031年春を予定していますが、その間当地で常に工事を行っているわけではありません。
2	夜間作業は掲示板で通知されるのか	工事工程表を掲示板（デジタルサイネージ）に表示し、その中で夜間作業が分かるようにいたします。
3	なんばSSビルの地下建物、杭の撤去はどうなるのか	建物撤去完了後の立坑工事において、地下部分や杭の撤去を行う予定です。その工事内容については、別途、工事説明会を開催する予定です。
4	工事に対する意見や夜間作業への苦情はどうすればよいか	事業内容に関するご意見は関西高速鉄道㈱、建物撤去工事の施工に関することについては大鉄工業㈱へご連絡をお願いいたします。 （連絡先は配布資料及びHP掲載資料のP43に掲載しております）
5	案内板はどこに設置するのか	デジタルサイネージ（工事工程や夜間工事をお知らせする電子掲示板）を北側の仮囲いに設置予定です。
アスベストの使用について		
6	アスベストが使われている場所と種類は	なんばSSビルにおいてアスベストの使用が確認されております。 アスベストが使用されている場所は床材のPタイルで、種類はクリソタイルです。 撤去作業の際には、法令に従い適切に処理いたします。
騒音、振動等について		
7	騒音、振動はどの程度発生するのか	定量的にお示しすることは困難ですが、極力、騒音・振動を出さない工法を選択し工事を進めてまいります。お気づきの点があればご連絡ください。
8	騒音、振動が多く発生する時期は	詳細なスケジュールは、その都度掲示板（デジタルサイネージ）でお示しさせていただきます。
9	工事に伴う水質汚染、粉塵は	工事で使用した水については、基準値内となるよう、必要な処理をしたうえで排出いたします。 粉塵については建物を防音パネルで覆うとともに散水、工事用車両の清掃により、工事ヤード外に出さないようにいたします。
工事車両による交通影響・安全対策について		
10	周辺道路が狭く、病院への救急車の出入り・待機に懸念がある	工事用車両は周辺道路で待機しないように指導を徹底いたします。
グウマグノリア撤去について		
11	グウマグノリアの撤去時期は	現在、入居されている方がいらっしゃいますので、退去が完了し次第、撤去工事を行う予定です。
12	グウマグノリアの撤去が遅れた場合は工事期間も伸びるのか	撤去工事の開始が遅れば工事期間も伸びることになります。
堀江地区のシールド工事について		
13	シールド工事でマンション内に水が溜まるなどの被害があった場合の対応は	過去の実績から想定はしていませんが、そういった場合には状況を確認させていただき、シールド工事が原因であれば速やかに対応いたします。
14	シールド工事で地下水の流れに影響はあるのか	過去の実績から影響は想定しておりませんが、そういった場合には状況を確認させていただき、シールド工事が原因であれば速やかに対応いたします。
15	ビル入口に緊急用の井戸があるが、シールド工事で水質や水の流れが変わることはないか	過去の実績から影響は想定しておりませんが、そういった場合には状況を確認させていただき、シールド工事が原因であれば速やかに対応いたします。 あわせて、シールドトンネルと井戸の位置関係も確認させていただきたいと思っております。
16	なにわ筋に到達するまで、建物がある場所を通ると考えるが、その建物についても今回のように取り壊す計画はあるのか	シールドトンネルが通過する位置にある建物に杭があり、トンネルに支障する場合には建物を取り壊す必要があります。 その場合は、損失補償基準に基づき補償をさせていただきます。
17	シールド工事についても45度ラインで家屋調査を実施するのか、その内容は なおマンションの杭に対する調査は実施するのか	概ねシールドトンネルから45度の範囲に該当する建物に対しては家屋調査を実施させていただきたいと考えています。調査内容は建物外観および内装などにひび割れがないか等を確認いたします。 地中の杭については調査することが難しいこともあり、調査は予定しておりません。
道頓堀川左岸側工事について		
18	道頓堀川の左岸側工事から臭いがする	現地で立会の上、確認をさせていただきます。